

業務名 浜松医科大学医学部附属病院医療機能強化棟等  
建築実施設計業務

設 計 概 要 書

2019年3月

国立大学法人 浜 松 医 科 大 学

## I 事業趣旨及び目的

### 1 整備目的

本学の医学部附属病院は2005年～2013年で病棟の新築や外来棟の改修を実施した再整備事業を経たが、近年の病院を取り巻く環境の激しい変化の中で、病院運営において新たな問題点や課題を抱えている。この事業は、それらの問題点等の対応に向け、医療のサービスの向上や医療機能の強化を進めるために整備を行うものである。

## II 敷地概要

### 1 敷地条件、都市計画条件等

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 敷地位置      | 静岡県浜松市東区半田山1丁目20番1号  |
| ② 敷地面積      | 234,636.74㎡  |
| ③ 敷地用途      | 病院   |
| ④ 区域・用途地域   | 都市計画区域（市街化区域）<br>第一種、第二種中高層住居専用地域  |
| ⑤ 防火地域指定の有無 | 無  |
| ⑥ 形態規制      |  |
| ◇建ぺい率       | 60%（法令等に規定する値） 15.94%（現状）  |
| ◇容積率        | 200%（法令等に規定する値） 50.41%（現状）   |
| ◇日影規制       | （二）4時間 2.5時間   |
| ⑦ その他の区域等   | 法第22条区域、高度地区、宅地造成工事規制区域、<br>下水道区域、都市計画学校、土砂災害特別警戒区域、<br>景観計画区域、地震防災対策強化地域、<br>公害防止地域（大気汚染、騒音、振動、悪臭、水質汚濁） |

## III 建物概要等

### 1 建物概要

#### (1) 医療機能強化棟（新築）

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| ① 建物用途     | 医療機能強化棟                 |
| ② 建物面積     | 延べ面積：6,501㎡ 建築面積：1,515㎡ |
| ③ 主要構造及び階数 | 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階      |
| ④ その他      | 配置及び平面等については別添資料による     |

#### (2) 病棟（改修）

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| ① 建物用途     | 病棟（病院施設）             |
| ② 建物面積     | 改修面積：（651）㎡          |
| ③ 主要構造及び階数 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階 |
| ④ その他      | 配置及び平面等については別添資料による  |

## Ⅳ 設計概要等

### 1 設計概要

- ①建築新営・改修（平面、断面、立面、矩計、展開、天伏せ、平面詳細、断面詳細、部分詳細、建具、撤去、外構、構造（構造計算を含む）、透視図、計画通知等作成及び手続き）
- ②その他上記に関連する工事  
（設備新営・改修は別途業務とする。）

## Ⅴ 留意事項

実施設計にあたっては、「浜松医科大学医学部附属病院医療機能強化棟（仮称）等基本設計書」を十分に理解するとともに、隣接する既存病院及びエネルギーセンターとの関連及び隣接する住宅地等に配慮し、以下の事項に留意する。

### （１）全般的事項

- ①医療機能強化棟に放射線治療装置の設置を予定しており、放射線漏えい対策に配慮する。
- ②医療機能強化棟は既存診療棟及び病棟に隣接して建設されることから、騒音、振動、粉じん、及び異臭等の影響が極力少なくなるよう使用材料や工法等について十分配慮する。また、工事関係車両の進入や駐車スペースが制約されることから、綿密な作業工程管理が要求されることを考慮する。
- ③改修においては、居ながら改修となるため、診療業務の支障とならないよう、十分に考慮する。
- ④維持管理・更新を念頭に、非構造部材の耐震化（天井等）や防災機能強化に配慮し、建物の長寿命化を図る。
- ⑤省エネルギーや環境負荷の低減を図る。
- ⑥早い段階で法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合せを行い、必要な申請手続きを円滑に行う。
- ⑦実施設計内容は、別途提示する参考工事費で施工可能なものとする。
- ⑧造成並びに多目的ホール棟（新築）の実実施設計業務委託受注者と適切に協議及び調整を行い、総合的な内容とする。
- ⑨医療機能強化棟（新築）、多目的ホール棟（新築）、既存外来棟、病棟が渡り廊下で接続されることから既存遡及チェックを行うとともに、改修図面を作成すること。